

【特集】

みんなの荘銀タクト鶴岡 グラランドオープン1周年

昨年3月にグラランドオープンした荘銀タクト鶴岡。NHK交響楽団こけら落とし公演を皮切りに、多くの開館記念事業を開催してきました。

小さな子供からお年寄りまで幅広い年代の方楽しんでもらおうと、クラシック音楽やミュージカル、伝統芸能など多彩なジャンルの公演を行い、多くの方に足を運んでいただきました。

また、地域に根付いた文化会館を目指し、貸館事業にも力を入れ、演奏会や学校行事などで様々な団体等からご利用いただきました。

グラランドオープンから1年多くの皆さんに利用されてきた荘銀タクト鶴岡の取り組みと主な出来事を紹介します。

トピック1

開館記念事業が大盛況

約1年にわたって行ってきた開館記念事業は計13公演。その来場者数は1万7,305人で、ほぼ全ての公演が即日完売するなど、大きな注目を浴びてきました。



NHK交響楽団こけら落とし公演



NHKのど自慢



海上自衛隊東京音楽隊 鶴岡公演



音楽の絵本

開館記念事業のラストを飾った「山形交響楽団庄内定期演奏会第27回鶴岡公演」で指揮をされた飯森範親さんに感想を聞きました。

今回、初めて荘銀タクト鶴岡で指揮をさせていただきました。お客様が入ると極端に残響が減ってしまうホールがあるのですが、荘銀タクト鶴岡ではお客様がいないリハーサルと、本番の響きがほとんど変わらず、とても素晴らしい残響の中で指揮することができました。

また、響き過ぎても、演奏中にオーケストラのメンバー同士のコンタクトが取りづらくなるのですが、ここではそれがありません。団員のみなも、お客様にどのように音が届いているかを感じながら演奏ができていました。

客席と舞台の距離が近く感じられて、とてもアットホームな温かい雰囲気があったり、舞台裏には音楽家がくつろげる広いスペースもあって、気持ちよく演奏できました。



山形交響楽団
芸術総監督
飯森範親氏

問合せ

荘銀タクト鶴岡 ☎ 24・5188

トピック 2

貸館事業も好調で より多くの方が利用

今年の3月末まで8万9,156人が利用しています。施設全体、大ホールの利用とも全国平均より高い利用率となっています。

	荘銀タクト鶴岡	全国平均
施設全体	80.8%	78.1%
大ホール	63%	53.3%

この数字が示すように、多くの市民の方に荘銀タクト鶴岡を盛り上げていただきました。

トピック 3

見学会は県内外から 多く来館

個人・団体合わせて7,430人の方に見学に来ていただきました。内訳は、市内の方が45%、市外の方が55%。県内外で広く注目されていることがうかがえます。



トピック 4

エントランスホール は多機能に活用

広いエントランスホールは、無料Wi-Fiが設置されていることもあり、平日の夕方には高校生の勉強や待ち合わせの場所としてにぎわいを見せています。



また、ミニコンサートなどの催しも行われていて、ほかにもワークショップや作品展といった使い方もできます。



いろいろな形で活用され、いつでも誰でも気軽に集うことができる交流の広場になっています。

トピック 5

国内だけではなく 世界でも話題に

昨年、東京にある森美術館で開催された「建築の日本展」では、日本武道館やオリンピックスタジアムなどと並び、日本を代表する建築物として大きく取り上げられました。

また、建築・デザイン・カルチャーのウェブマガジン「designboom」で、世界中で最も話題の美術館や文化センターのプロジェクトTOP10の筆頭に選ばれました。「designboom」は、1999年に開設された、最も長い歴史を持つウェブマガジンで、全世界に向けて発信しているメディアです。

荘銀タクト鶴岡は、国内だけでなく世界からも注目を集めています。

これからの運営体制

今後の荘銀タクト鶴岡の運営主体の在り方などについて協議するため、平成30年1月11日の第1回から今年3月12日まで計7回、専門家と市民の代表で構成する鶴岡市文化会館利活用会議を開催しました。

そこで出された結論は、「運営主体は、一般財団法人鶴岡市開発公社と特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会の共同企業体が望ましい。」というものでした。

市公共施設の管理で実績がある鶴岡市開発公社と、地域の芸術文化事情に精通している鶴岡市芸術文化協会が、それぞれの得意分野を生かしながら、協力して運営することで、利用環境の向上につながることが期待できます。

令和3年4月からの共同企業体を指定管理者とする運営について、今年の9月市議会定例会で審議いただいた上で、来年4月からの1年間を移行期間として進める予定です。

市として、これからの運営の土台をしっかりと形作り、荘銀タクト鶴岡が芸術文化の交流拠点となるように取り組みます。そして、市民の皆さんにより一層愛される「みんなの荘銀タクト鶴岡」を目指します。